



表紙写真/こいのぼり

# CONTENTS

ご覧になれます。

- 1 **くがにくとつば**[黄金言葉] vol.146  
**建設業は請負業ではない  
～技術提案のできる会社～**  
大晋建設 株式会社 代表取締役社長 大城 元臣
- 5 **【スポット調査】2016年度の賃金動向について**
- 6 **地域リレーションシップ情報**<sup>(137)</sup>  
**沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について  
「輝きシゴト塾成果報告会」及び  
「久米島町女性創業セミナー」の開催**
- 8 **けいざい風水**
- 10 **おきぎんカトリアクラブ通信**
- 12 **最近の県内経済の動向**  
2016年2月の県内景況
- 14 **国内景気動向**
- 16 **沖縄マーケティング情報**  
①沖縄県内の事業所数・従業者数・人口・世帯数  
②世界の中の沖縄(年次)  
③グラフでみる沖縄経済  
④数値でみる沖縄県・全国の経済動向(月次)
- 36 **経済社会のできごと** (沖縄、国内・海外)  
2016年3月
- 38 **おきぎん調査レポート・バックナンバー** (分野別)
- 42 **ゆがふ編集後記**

## 建設業は請負業ではない ～技術提案のできる会社～

大晋建設 株式会社

代表取締役社長 大城 元臣



今回は、創業より66年目を迎え、建設技術を柱とし、業界において常にパイオニア精神で時代時代の役目を担ってきた大晋建設 株式会社の大城 元臣 代表取締役社長にお話を伺って参りました。

**Q：創業者 大城 重信氏についてお聞かせください。**

おかげさまで創業66年目になります。先代の  
大城 重信 前社長は人懐こく、賑やかなのが好きな性格で、カラオケが大好きでした。先代は常に、技術屋として社員にも誇りを求め、仕事の「質」を高めたいという想いがありました。

先代は若い頃、内地で建設業に携わり、大手で経験を積んで沖縄に戻って設計事務所「ライト工務店」を開設したのですが、沖縄の建設業との技術的なギャップを大きく感じたみたいです。

ライト工務店は沖縄の気候風土にあったコンクリート造りを提唱し、そのための新しい技術を積極的に取り入れ、または編み出しながら、ほどなく沖縄の設計業界をリードする存在になっていきました。

映画館、デパート、沖縄食糧倉庫、沖縄製粉工場、オリオンビール工場、琉球セメント工場等々、パイオニア精神で先駆的な設計に携わってただけでなく、現在の沖縄独特の街並みを形成しているコンクリート造りの住宅の普及、また学校の水洗トイレやアルミサッシの普及にも大きく貢献しました。



▲桜坂オリオン映画劇場 (1956)



▲琉球セメント工場 (1964)

その後、先代は技術屋として、設計だけではなく、現場の技術的な部分を自分で育んでいきたいという思いが強くなり、設計事務所を閉めると同時に、設計から施工管理まで行う総合建設業「株式会社 大真建設 (1975年大晋建設株式会社へ改名)」を設立しました。

目指したのは「技術提案のできる建築会社」でした。「建設業は請負業ではない」を旗印に掲げて取り組み、「技術の大晋」として、沖縄の建設業界に一石を投じ、業界を変えていくきっかけにもなりました。

**Q：大城元臣社長の経営について教えてください。**

私が社長に就任したのはバブル崩壊後の1991年です。その後、建設業界では談合の排除措置命令が出る等、多くの建設業者が淘汰され各社がそれぞれ切磋琢磨しながら競争していかなければならない厳しい時代となりました。

そこで、先代が晩年、「単によそが計画したものを作るのではなく、お客様に『こういうのはどうですか』と提案する仕事をしなければならない」と話していたことを思い出し、公共のみではなく、民間にも力を入れ、賃貸共同住宅、分譲マンションの企画、営業、設計、施工、メンテナンスも行うようになりました。

私は先代の意思を引き継ぐと共に、近年は「住環境創造企業」として、また、私たち“ものづくり”の技術屋として、創造する心も大事にし、人々に心の豊かさを与える街並みや風景などの住環境を創造していきたいと思えます。

**Q：社長就任後、印象に残る建物はなんですか？**

1つ目は、首里の丘の上に建つ分譲マンション「MIOVIENT首里花御内」です。私たち大晋建設が、創業55年のうちに蓄えてきたノウハウや技術の結晶とも言えます。「都会的な生活の中で、最高の『心地よさ』を実現すること」をコンセプトに、立地・デザイン・設計プランなどを練り上げてきたこの建物は、沖縄の新しい住まいを提案しようという、私たちの意欲作となりました。

立地等から億単位の部屋も計画したのですがリスクを考え、6,000万円台のお部屋をご提供できました。今でもその価値は下がっていないと思えます。



▲「MIOVIENT首里花御内」(2004)

2つ目は、豊崎に造ったツインタワーの14階建てマンション「MIOVIENT豊崎タワー」です。創業60周年となる2010年に、発展著しい豊見城市豊崎に「都市×リゾート」をテーマとし、都

市生活とリゾート生活が一つになった、新しい空間が実現しました。その事により、全国住宅建設産業協会連合会より優良団地として表彰されました。

「MIOVIENT」シリーズは大晋建設が目指す「快適な住環境の提供者」としての役割を担っています。

大晋建設は企画、営業、設計、施工、メンテナンスの一貫体制が取れる建設会社として、個性を持ちながら価格競争に巻き込まれない独自路線を築いています。



▲「MIOVIENT豊崎タワー」(2010)

**Q：企業理念や社是について教えてください。**

企業理念は「仕事を通して社員各々の成長と幸せをもたらす」です。人は仕事に就いている時間が一番長く、仕事からいろんな事を学びながら自身を成長させ、自身の幸せを見出していかなければならないという想いを込めています。会社組織の中でその人の人生も成り立っていきます。その研鑽の場として大晋建設があります。

私が就任してつくった理念で、当初は他の幹部から企業理念らしくない、とよく言われました。

**理念**

仕事を通して 社員各々の  
成長と幸せをもたらす。

**理念の実践**

1. 大晋建設は、仕事への自信と誇りの中に、「幸せ」を見出します
1. 大晋建設は、お客様の満足度No.1を目指して、日々「成長」します
1. 大晋建設は、お客様の幸せを見極め、その実現に向けて「創意工夫」します
1. 大晋建設は、会社全体として成果を出し、互いに成長できるよう「一丸協力」します
1. 大晋建設は、職場を「自身を成長させ、人生を豊かにさせる道場」と捉えます。

▲大晋建設 企業理念

社是は、先代が書き下ろしていますが、その中でも「心を読む心を養いましょう」の部分が気に入っています。「設計図書をみるのも、法律を理解するのも、小説を読むのも、すべて対人、対物にその裏に光る心を読みとる練習を積みましょう」という意味が込められています。

私達は、お客様の真意を見極め、単に仕事をこなすだけではなく、自分の気持ちを込め「創意工夫」ができる人材育成に努めており、同じ社員を指名されるリピーターのお客様が多いのが我が社の強みです。

**社 是**

1. 心を読む心を養いましょう  
設計図書をみるのも、法律を理解するのも、小説を読むのも、すべて対人、対物にその裏に光る心を読みとる練習を積みましょう
2. 反省を勇らぬよう心がけましょう  
職場（現場）においては、常に安全第一、工事工程計画、実績向上、技術研鑽において、その日その日の反省を怠らず「ミス」を謝罪向上に努めましょう
3. 誠実を旨とし、恥をつくらぬよう努めましょう  
営業行動や、設計費見合せ等には常に誠実を「モットー」として、信頼構築に違ってはならない
4. 信用を第一と心がけアフターサービスにも万全をつくしましょう  
利便をかりとするには、先ず信頼第一、完全工事をめざしましょう
5. 創造する心を忘れぬようにしましょう  
私たちが、技術者は常に創造する心を忘れてはならない、現場でアイデアを生み出し、課題を解決して時代に遅れぬよう努めましょう

▲大晋建設 社是

**Q：座右の銘について教えてください。**

「揺れても沈まず」という言葉が好きです。いろいろな社会現象の中、それに左右されないで、我々の趣旨、目的がぶれずにいけたらと思います。

**(最後に)**

私ども大晋建設は、「人々の心の豊かさづくり」を建築を通して築いてまいりました。

私たちを取り巻く「環境」の諸問題や課題を常に考えながら、今の時代と次世代に繋げる建築のトータルプランナーとして、地域社会の社会資本である意識を持ち、豊かな暮らしの基盤を支えて、人と自然の調和で「未来へつづくカタチ」を創り続けます。

**会社概要**

商 号	大晋建設株式会社	
創業年月日	昭和25年11月	
本 社	〒900-0024 那覇市古波蔵3-6-5	
連 絡 先	098-831-7777	
役 員	代表取締役社長	大城 元臣
	代表取締役副社長	下地 一則
	専務取締役	大城 壮司
	取締役	又吉 健
職 員 数	55名（パート・アルバイト含む）	
事 業 内 容	総合建設業	
営 業 所	宜野湾支店 豊見城営業所 南城営業所 南風原営業所	

▼大晋建設ロゴマークについて

未来へつづくカタチ



**TAISHIN**

自然や社会のさまざまな現象が変容している現在。自然と人間社会の関係性を大きな概念で捉えた東洋の大極図(循環図)をメタファー(隠喩)にしました。天の気と地の気、陰と陽、光と影、自然と人工物など「万物の源」としての世界観をモチーフにしました。卵型のフォルムは循環図のイメージから常に新たなエネルギーを生みだしていく企業理念をカタチにしました。

## CORPORATE DEVELOPMENT 沿革

- 2010.5 「県立上田団地」が平成22年度県知事表彰を受賞
- 2010.4.15 創業60周年・創立40周年を迎える
- 2010.3 高齢者専用賃貸住宅「ラ・ベージュ泡瀬」完成
- 2009.4 MIOVIENT豊崎タワー 販売開始
- 2009 MIOVIENT仲宗根 販売開始
- 2007 MIOVIENT古蔵台 販売開始
- 2006 MIOVIENTラビスタ西原 販売開始
- 2006 MIOVIENT泡瀬 販売開始
- 2005.7 「MIOTOP」シリーズ100棟突破
- 2004.12 MIOVIENT首里花御内 完成
- 2003 「MIOTOP」シリーズ60棟突破
- 2003 MIOVIENT新都心スカイコート 完成
- 2002 MIOVIENT新都心 完成
- 沖縄都市モレール(ゆいレール) 備後駅舎竣工
- 2001 「MIOTOP」シリーズ30棟突破
- 2001.3 自社ブランド分譲マンション第1号  
ミオシヤター宮里 完成
- 2001.10.5 グループ企業ライト工務店と共に品質保証国際規格ISO9001取得。  
【内容】  
(1) 建築物の企画・設計・施工業務および付帯サービス  
(2) 土木工事の施工業務  
(3) 分譲マンションの販売業務
- 2000.4.15 創業50周年・創立30周年を迎える。
- 1995.4.1 本社を那覇市古波蔵3丁目6番5号(現所在地)に移転。
- 1994 「佐喜真美術館」竣工。
- 1991.3.1 代表取締役会長に大城重信、代表取締役社長に大城元臣が就任。  
「沖縄県庁舎行政棟」が、建築業協会賞を受賞。  
(設計:黒川紀章建築都市設計事務所、沖縄県建築設計監理協同組合)  
「沖縄キリスト教短期大学」が、日本建築学学会賞・作品賞を受賞。  
(設計:真喜志好一&新キャンパス設計室)
- 1987 「那覇市立石嶺中学校」が、建設業協会賞公共建築賞・建設大臣表彰を受賞。
- 1987.5 本社を浦添市牧港5丁目6番8号に移転。
- 1983.6 本社を那覇市上間245番地1に移転。
- 1981 県立南部病院竣工。
- 1979.12 合資会社ライト工務店を吸収合併。
- 1977.11 建設業の種類「土木工業」の認可を受ける。
- 1975.9 「大晋建設株式会社」へ商号変更。  
新株を発行し、資本金40,000,000円とする。  
大城重信、日本建築士連合会より表彰を受ける。
- 1975.11 「国立沖縄青年の家」竣工。文部大臣より感謝状を受ける。
- 1973 合資会社安里組を吸収合併。
- 1970.7 資本金を60,000ドルとする。
- 1970.4.15 株式会社創立。  
ライト工務店を改め、「大真建設株式会社」として、那覇市東町3番地31に設立する。  
改組により、「合資会社ライト工務店」へ商号変更。
- 1959 合資会社ライト工務店を解散、個人事業所「ライト工務店」として営業開始。
- 1953.4 事務所を那覇市牧志2番地1231に置く。  
「合資会社ライト工務店」設立。
- 1952.3 代表社員 無限責任者 西平守徳、大城重信、大山清吉、有限責任者 大城安静。  
創業。
- 1950.11 大城重信、西平守徳、山里銀造の3名が、建築設計・監理業を目的として、  
「ライト工務店」を創業。



### MIOTOP 賃貸アパート・マンション



### MIOVIENT 分譲マンション



# けいざい 風水

## ✦ 宜野湾市のまちづくり

### 医療拠点へ検討進む

「健康都市宣言」を掲げている宜野湾市では、今年3月に返還された宜野湾市の「キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）」の跡地利用について、医療と健康をテーマにしたまちづくりの検討が進められています。

同地区の跡地利用については、国においても「沖縄が日本のフロントランナーとして日本経済再生のけん引役を担う上でも重要な取り組み」と位置付けており、国際医療拠点構想の具体化に向けた検討が積極的に進められています。

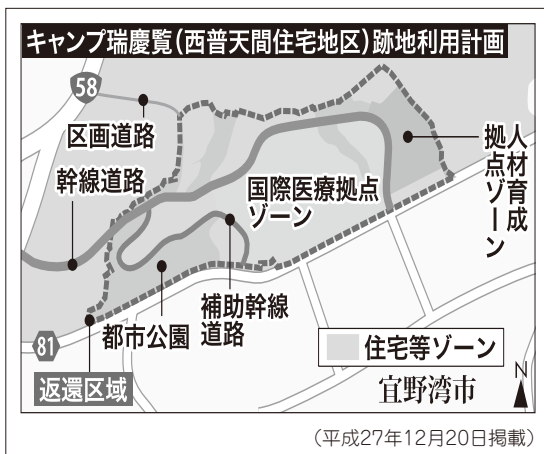
国際医療拠点が形成されることで、高度な最先端医療が期待されるほか、関連した医療産業や医療ツーリズム、健康関連の産業など新たな産業の創出、波及効果としての雇用創出や人材育成などの取り組みが図られる可能性があると考えられています。

また、西普天間住宅地区へ琉球大学医学部及び同附属病院の移設が検討されていることもあり、宜野湾市と琉球大学は、地域社会の発展と人材育成の振興に寄与することを目的に去る11月29日に「包括連携協定」を結びました。「健康都市」の実現に向け、大学の持つ学術や地域医療としての地元に対する貢献が期待されます。

西普天間住宅地区の跡地利用は、今後返還を控えている駐留軍用地跡地利用のモデルとしても注目されており、産学官の連携による国際医療拠点の形成が成功の鍵となります。

このような動きをふまえ、今後も健康都市の実現に向けたまちづくりが進むことを期待したいと思います。

（沖縄銀行 普天間支店長 喜久本 健）



## ✦ 栄町市場の発展

### マチグラーと若手融合

1955年2月12日、那覇市大道地区で「栄町誕生記念式典」が開かれ、「栄町」が名付けられました。当初は料亭や劇場、公営会館などが多かったようですが、時代とともに庶民社交街がにぎわいを見せ、約200店舗が軒を連ねるなど、村営から自主的な経営へと移り変わりました。また、戦後37年を経過した頃には金融機関、ホームセンター、病院、診療所などが建設されました。

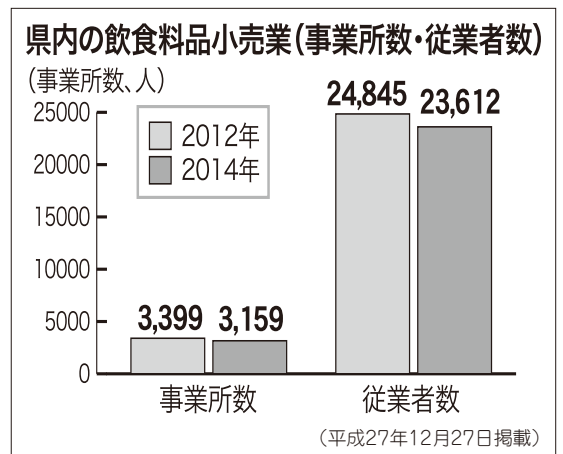
県内では大型量販店建設の影響などから、飲食料品などの専門小売業が減少する動きが見られ、ここ栄町も従業者の高齢化に伴い店舗の閉店が続いていました。しかしながら、近年、そのような空き店舗を若者の起業家が埋めていく現象が見られ始めており、これまで続いてきたマチグラー（市場）と若者の経営する店舗の融合が地元や観光客に人気のスポットとなるなど、徐々に活気づいています。

4,400坪の敷地の中に約120あまりの店舗がひしめきあい、終戦後の昭和の色と匂いが今なお感じられるここ栄町には、全国各地から起業を目指す若者が数多く訪れ、移り住んだ方もいるようです。

県内の小規模商店街についても、大型店進出の影響などにより徐々に減少している状況を創意工夫で生き残っていくためには、地元住民に愛され、地域に根付いている商店街の魅力をいかに発信し続けていくかがポイントだと思います。

過去の歴史の移り変わりとともに、栄町が今後も発展、成長していくことを期待したいものです。

（沖縄銀行 大道支店長 東江 安夫）



## ✦ リゾートの経済効果

### さらなる態勢整備重要

現在、多くのカップルが沖縄県でリゾートウエディングを挙式しています。沖縄県は国内におけるリゾートウエディングの地として認知度も高く、リゾート気分を楽しめるという魅力があり、ここ数年、挙式数は増加傾向にあります。

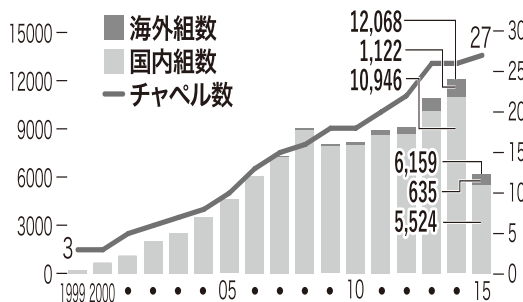
県の「2015年沖縄リゾートウエディング統計調査（1月～6月）」によると、15年上半期（1～6月）は6,159組と上半期で過去最高を記録しています。内訳をみると、国内組では関東地方からの申し込みが最も多く、全体の4割を占めているほか、海外組も香港、台湾、中国などからの申し込みが増えています。最も人気のある挙式としてチャペルウエディングが全体の84%を占め、県内のチャペル数も1999年の3ヵ所から年々増加し、15年6月末時点で27ヵ所となっており、ウエディングリゾートへの期待感がうかがえます。

また、15年上半期の推計経済効果は（1）組数（国内5,524組、海外635組）（2）平均参列者数（国内20.5人、海外17.4人）（3）平均費用額（国内52.9万円、海外32.5万円、フォト撮影のみ10万円）（4）1人当たりの観光消費額（国内7万2,613円、海外10万6,501円）などから算出すると、少なくとも約111億9千万円と推計されています。

今後も県や観光業界などとの連携によりリゾートウエディングのさらなる受け入れ態勢の整備を進めていくことで、沖縄の観光産業が幅広く発展していくことを期待したいと思います。

（沖縄銀行 北谷支店長 野原 敦由）

### 沖縄リゾートウエディング実施組数の推移



出所：沖縄県観光振興課「2015年沖縄リゾートウエディング統計調査（1月～6月）」  
※2015年は1～6月累計、その他は1～12月累計

（平成28年1月10日掲載）

## ✦ 子どもの貧困対策

### 経済への影響も甚大

これから受験・進学シーズンを迎え、ニュースなどで期待に胸を躍らせる子どもたちの姿を目にする一方、そこには映し出されない子どもたちがいることも事実です。

政府は2014年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を施行しました。子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されず、また、貧困が世代を超えて連鎖しないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図ることなどを目的・理念としています。日本財団が昨年12月に公開した「子どもの貧困の社会的損失推計」では、子どもの貧困を放置した場合、わずか1学年分の子どもたちだけでも経済損失は約2.9兆円、政府財政負担は1.1兆円増加すると推計され、社会的な問題だけでなく経済にもたらす影響も計り知れません。

日本の子どもの貧困率（12年）は16.3%（約6人に1人）、特に母子世帯など、ひとり親世帯の貧困率は50%を超えています。一方、県内の子どもの貧困率は全国最下位の1人当たり県民所得（約203万円）、非正規就業者割合（全国1位）、母子世帯出現率（全国の約2倍）などの指標から全国よりはるかに高いものと推測されます。

県は昨年7月から子どもの貧困対策に関する検討会を発足させたほか、16年度内閣府沖縄関係予算では子どもの貧困対策として10億円が計上されました。全国的な人口減少が進む中、内需拡大、経済活性化に欠かせない人材となる子どもたちのために、さまざまな施策を考え実践していくことが求められます。

（沖縄銀行 石川支店長 花城 一巳）

### 子どもの貧困に関する参考指標（沖縄と全国の比較）

指標	沖縄	全国	順位
非正規就業者率（%）（2012年）	44.5	38.2	1
母子世帯出現率（%）（県13年、全国11年）	5.46	2.65	—
有業者中間所得が200万円未満の世帯の割合（%）（12年）	24.7	9.4	1

出所：沖縄県子ども生活福祉部「沖縄県の子どもの貧困の状況」

（平成28年1月17日掲載）

### イスカンダル計画から感じること

本誌3月号で沖縄経済同友会「飛び込めアジア！」視察の最終章フィリピン・マレーシアのうち、フィリピンをレポートさせていただきましたが、今回はマレーシアにおける国家プロジェクト「イスカンダル計画」をご紹介します。と思っています。

イスカンダル計画は世界的に有名なプロジェクトであり、日本国内でもご承知の方も多く、また中には既に投資をされている方もいらっしゃると思いますが、「アジアの活力」を見聞する立場で参加した沖縄経済同友会の視察団一行全員が、驚きをもってアジアのスピード感、スケール感を感じたこのイスカンダル計画を、少しでもお伝えできればと思っています。

イスカンダル計画といえば、日本人からすれば「ん？宇宙戦艦ヤマト？」と反応しそうですが、一言で言えばアジアの中心都市シンガポールの川を隔てた対岸であるマレーシアのジョホールバルに、もう一つのシンガポールを創ってしまおう、という壮大な計画です。4つのキーワード1. safe (安全)、2. Connected (IT、交通、コミュニティの連結)、3. Livable (便利・快適)、4. Efficient (エネルギー、リソースの効率化)を基本コンセプトとして、シンガポールの3倍ある土地に、一から計画的かつ長期スタンスで巨大な「スマートシティ」を創っていこう、というものです。新たな都市が隣のシンガポールと連携、補完し合ってひとつの巨大メガロポリスがアジアに出現しようとしているのです。

視察団一行が感じたその計画の印象は、とにかくハード先行で（需要予測とかも一応したと思うが）スピード感、スケール感がハンパじゃないって事でした。港湾、道路、産業施設、企業誘致、政府の公共施設、高層マンションなどの住宅施設、ショッピングモール、世界的に有名なレジャーランド、高校、大学等の教育施設（医科大学やイギリスの名門学校も既に誘致済み）、病院施設など、世界中の人材とマネーを呼び込みながらダイナミックに進めているということでした。このプロジェクトには日本の大手商社も深く関わっており、この商社にとっても一からの街づくりは初めての経験との事で「私の定年前には、まだこの計画は終わっていないと思います」と話した若い商社マンの笑顔が印象的でありました。

さて、わが沖縄。イスカンダル計画を目の当たりにしたあとは、なにか、沖縄が「止まって」見えました。あまりにもスピード感とスケール感が違いすぎるのです。リニューアルした国際ターミナルはオープン即、満杯、クルーズ船も既に受入れ困難、相変わらずの交通渋滞、MICE施設は経済界の要望もあり増床計画となりましたが、まだまだ規模的にはアジアのスケール感に及ばないと感じています。もちろん日本の行政機構は緻密であり、これまでの実績や需要予測を重視することはよく理解できますが、アジアの中心、日本の玄関口を自認するオキナワならば、一括交付金がある今、ダイナミックに既成概念を打ち払い、スピード感、スケール感をもってなにか「とんがったこと」ができないものか、とつい思ってしまいます。

(株)おきぎん経済研究所 代表取締役社長 出村郁雄